

じせつめぐり

市民プール



取材中の平田さん(左)



富士山をのぞむ、潤井川のほとりに、夏は市民のカップ天国となる、プールがあります。

大人から幼児まで家族ぐるみで楽しめるよう、一周250位の流水プール、カラフルで夢のある落差の大きなスベリ台のついた子ども用、かわいい絵が書いてある円形の浅いスベリ台つき幼児用、そして25位の競泳用の本格的なプールなど4つのプールがあります。

オープン以来10年、入場者数は昨年で百万人を突破し、ひと夏平均10万~11万の人々に利用されているそうです。

又このプールの評判を聞きつけて、他の市町村からも大ぜいの人々が来て楽しんでいます。

プールでは、シーズン中毎日20名の方が、みんなが安心して利用出来るよう働いてくれているそうです。

市民のみなさんも、お互いに迷惑をかけないように

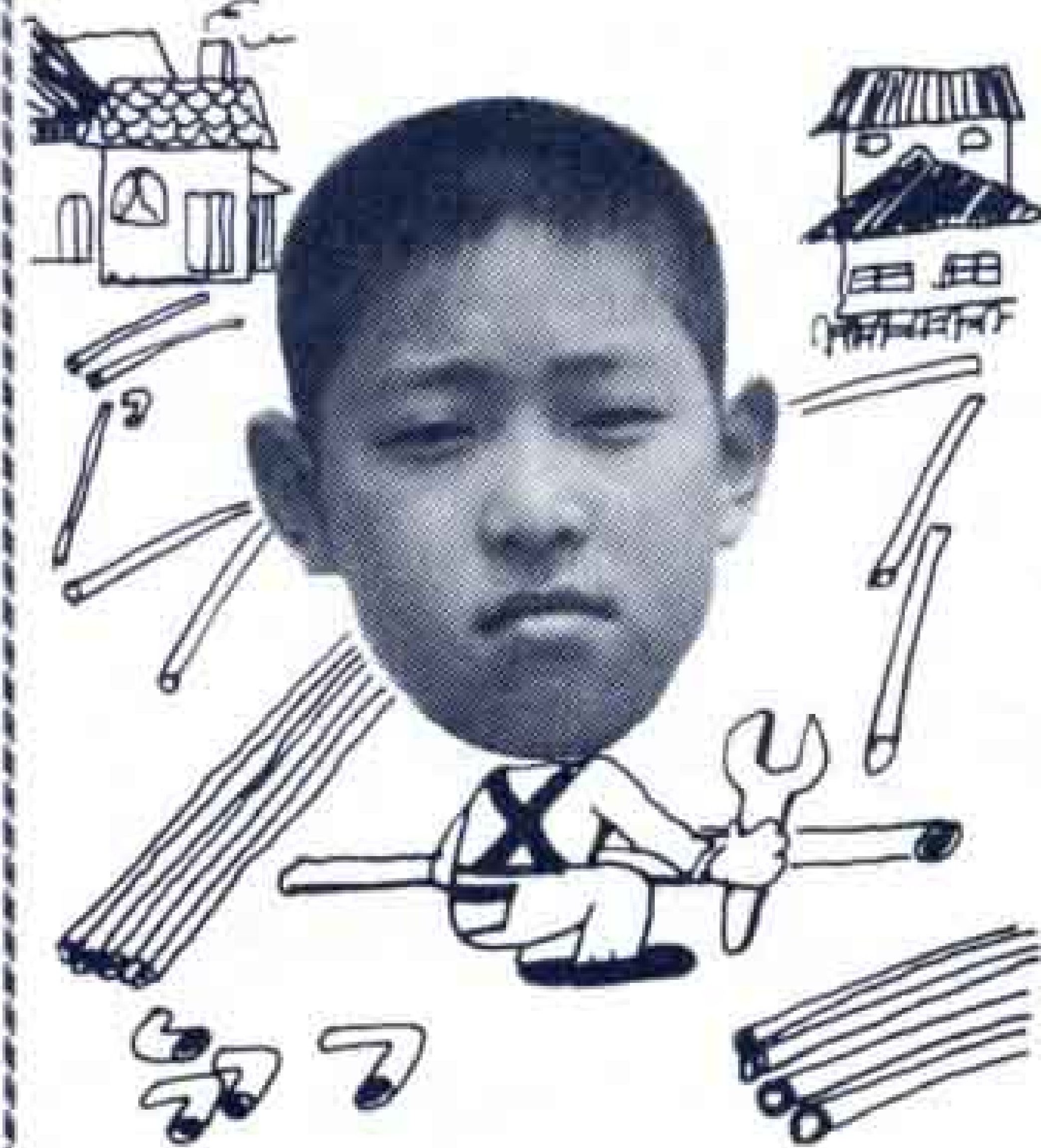
- ① 自分のゴミは持ち帰る
- ② 忘れものをしない
- ③ なるべく車でこない

などととも、プール遊びのマナーを守ったら、もっと楽しい夏が過ごせるのではないかと思います。

(レポーター 新浜 平田和子さん)

ぼくの夢 わたしの夢

へこたれないで働く人に



広見小 六年 望月正巳君

ぼくの将来は、父の跡つぎで、水道工事をやれと言われている。なまけ者のぼくにできるかな。連休に三日間手伝ったけど、パイプは長くて重くうめるのもたいへんだった。モーターやドリルの油が手について、いつまでもにおいが残った。でも、人間の暮らしに大切な水を運ぶ仕事だけ、日にやけるし、体もつかれる仕事だけど、へこたれないでがんばりたい。

私達の自然の森



広見小 六年 上松知子さん

私のゆめは、発展した町の中にも自然の森がほしい。広見の森の大きいのを造って、その中に学校を建て休み時間には果物のなる木に登ったり、時には授業もその木の下ですればきっと楽しいと思う。今の私たちは、塾やおけいこ事に行っている人が多い。だから遊ぶ日を決めて、学校の森でみんなで一日中過せば、次の日は勉強も思いきりできると思う。



お店や会社から出る営業用のごみ(事業系一般廃棄物)は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で自らの責任において適正に処分するように定められています。

これらのごみを一般家庭ごみと一緒に出されますと収集が円滑にできませんので、直接清掃工場または、産廃処分地へ持ち込むか、もしくは、収集運搬業者に委託して処分してください。

(詳しいことは、市環境衛生課へおたずねください)

——進めよう ごみの減量・資源化——